

行政改革大綱・集中改革プランの策定から約2年が経過し、このほど平成19年度における各課の取り組み実績がまとめられました。

平成19年度における削減実績額は1億1,500万円あまり。目標を大きく超える結果となりました。これは消防団設備の見直しや補助金の見直しを進めたことが主な要因となっています。第2章では、どんな分野で改革を実行したのか、また目標額と実績額の比較、そして新しく始まった取り組みなどについてご報告します。

【第2章】

行革 2年目の成果

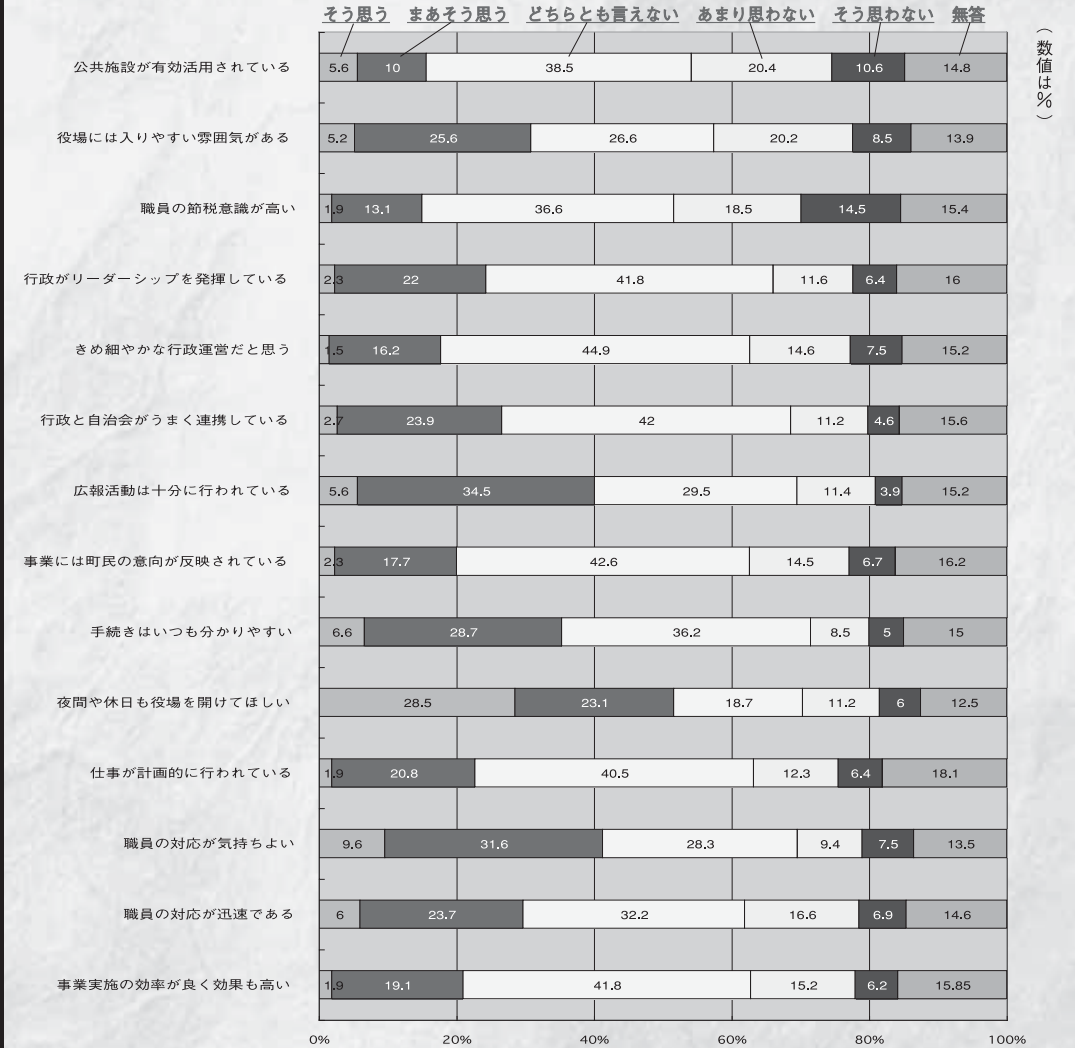
平成19年度の取り組み状況をご報告します

平成19年3月、「第1次川根本町総合計画」を策定しました。策定に際し、計画の基礎とするため大規模な住民アンケートを町内在住の1000人の方を対象に実施しました。様々な質問の答えによって、この町に生きる人々が「日々どんなことを感じているのか」、「どんな町を望んでいるのか」、「どんな不安があるか」などが明らかになりました。

川根本町はこれからどんな町を目指していくのか。その礎となったアンケート結果です。右のグラフは、設問の一つ「町政に対してなにを感じているか」という設問です。アンケート結果から、町民の皆さんが、普段行政に対してどのような思いを持っているのかが見えてきます。まずは、職員の意識改革や職場の雰囲気づくりから取り組む必要があるようです。施設の有効活用は大きな課題です。

■住民アンケート：
本町在住の18歳以上を無作為に抽出。平成18年5月24日～6月7日まで。配布1000通。回収率51.9%。

●川根本町総合計画策定のための住民アンケート結果より 町民の皆さんが行政に感じていること



●アンケート結果ベスト5

【そう思う】+【まあそう思う】

- ①夜間や休日も役場を開けてほしい…51.6%
- ②職員の対応が気持ちよい…41.2%
- ③広報活動は十分に行われている…40.1%
- ④手続きはいつも分かりやすい…35.3%
- ⑤役場には入りやすい雰囲気がある…30.8%

●アンケート結果ワースト5

【そう思わない】+【あまり思わない】

- ①職員の節税意識が高い…33.0%
- ②公共施設が有効活用されている…31.0%
- ③役場には入りやすい雰囲気がある…28.7%
- ④職員の対応が迅速である…23.5%
- ⑤きめ細やかな行政運営だと思う…22.1%

●ベスト5のトップは「夜間や休日も役場を開けてほしい」という希望でした。現在役場では休日の窓口業務の試験運用なども行っており、今後も検討を重ねてサービス向上に努めます。次いで「職員の対応が気持ちよい」、「広報活動は十分に行われている」、「手続きはいつも分かりやすい」という順となっています。

●ワースト5の結果を見ると、上位から「職員の節税意識が高くない」、「公共施設の有効活用がされていない」、「役場には入りやすい雰囲気がない」、「職

員の対応が迅速でない」という結果でした。これらは「そうではない」と思っている結果ですから、語尾は否定形に読み替えます。町民の血税を大切に使うという意識が低い、公共施設がうまく活用できていない、役場は入りづらいと、皆さんが評価しているということです。またワースト3位の「役場には入りやすい雰囲気がない」は、ベスト5では「入りやすい雰囲気がある」として5位にランクインしていました。どの部署に立ち寄ったかによっても雰囲気が違うのでしょうか。